

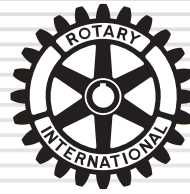


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2015-2016



Rotary

District 2680



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引の全てにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。



ガバナーズレター.....	1
A Talking Knowledge of Rotary.....	3
「ロータリーの友月間」にちなんで.....	4
ガバナー事務所からのお知らせ.....	4
コーディネーターニュース8月号／文庫通信（335号）.....	5
地区委員会報告.....	6
ご入会おめでとうございます.....	8
ご協力に感謝します.....	8
9月地区活動予定.....	9
2018-19年度「ガバナーノミネー候補者」推薦のお願い.....	9
出席報告	

本年度の表紙

川西英画伯の「兵庫百景」は昭和37年1月から毎日曜日の神戸新聞夕刊紙上に多色刷りとして一景ずつ100回連載されました。本年度は、この「兵庫百景」より兵庫県を代表する景色を抜粋掲載させていただきたいと思います。なお、MEMOは「兵庫百景」より引用させていただき、旧呼称は現呼称をカッコ内に付記いたしました。

❖今月の表紙 滝野闘龍灘

MEMO

国鉄加古川線（JR加古川線）滝駅下車。バスは闘龍灘のすぐ西にとまる。川床いっぱい岩盤が現れて小滝となっている美しい風景を見て、徳川期の儒者梁川星巖が闘龍灘と命名したという。

「ワールドクラス」 ロータリークラブの 会長 幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区
ガバナー 丸尾 研一 (神戸西神)

これからも、もうしばらくは残暑が続きそうです。
お体にはくれぐれもお気をつけください。

9月は基本的教育と識字率向上、ロータリーの友月
間です。

基本的教育と識字率向上

世界には、学校教育が受けられない子どもたちが
6,700万人、読み書きができない15歳以上の人が
7億7,500万人以上います。日本ではどうでしょうか、
識字率が99%で世界23位です。なぜ99%なのでしょう。
それはほぼ100%なので、調査せずに便宜上99%にし
ているだけです。

日本の識字率は、数百年に亘って世界一を誇ってお
り、江戸時代の幕末期においては、武士はほぼ100%
読み書きができ、庶民層でも半数以上は読み書きがで
きたようです。1853年に黒船を率いてアメリカからや
って来たペリー提督は、日記「日本遠征記」に日本に
ついて「読み書きが普及していて、見聞を得ることに
熱心である」と記されています。また、1861年来日し
たロシア正教会の宣教師ニコライは、8年間日本に滞
在し、帰国後、ロシアの雑誌「ロシア報知」に次のよ
うな日本の印象を紹介しました。「国民の全階層にほ
んど同程度にむらなく教育がゆきわたっている。ど
んな辺鄙な寒村へ行っても、読み書きができて本を読
む人間の数においては、日本はヨーロッパのどの国に
もひけをとらない。日本人は文字を習うに真に熱心で
ある」と記されています。

では、世界に目を向けると、字が読めないばかりに

危険な地雷地域に入ってしまったたり、基本的教育を受
けてないばかりに残忍なテロリストにされてしまったり、
女子には教育がいないという地域があったり、
貧困から教育を受けられない子どもたちが沢山いるの
が現状です。世界平和、紛争予防のためにも、基本的
教育と識字率向上は必須項目ですが、私たちはいった
い何をしたらいいのでしょうか。本当に悩みます。

「ザ・ロータリアン」誌2013年12月号にこんな記事
が掲載されていましてので紹介します。テロの危険を
顧みず、ロータリアンのラジャ・ジャンさん（米国の
女性ロータリアン）は祖国アフガニスタンに少女たち
のための学校を立てました。

「今日、400名以上の女子が教育を受けています。祖
国アフガニスタンに、少女たちのための学校を。」

ラジャ・ジャンさんがそう思い立ったのは2005年の
ことでした。当時は、武装勢力のタリバンが女児教育
への過剰な圧力をかけており、ジャンさんの考えは大
きな危険を伴うことでした。学校が設立された2008年、
国内では爆弾、銃、毒ガスや酸性物質、手榴弾で武装し
たテロリズムによって、教師や学校職員、生徒など149
人の命が失われました。しかし、ジャンさんはひるみ
ませんでした。アフガニスタンの教育省とかけ合った
末に、政府高官を説得し、首都カブールから30km離れ
た村の土地を寄贈してもらいました。「サブリ教育セン
ター」と名付けられた教育施設は今年で6年目を迎え、
幼稚園から中学校までの女子400人に教育の場を提供
しています。この教育センターがなかったら、多くの
少女に教育への道が開かれることはなかったでしょう。

「知識は一度身につければ、誰も奪うことはできない」
そう話すジャンさんは、少女たち、そして地域社会で起きている変化を、はっきりと感じています。ジャンさんは、女の子たちが置かれている状況を知り、何とかしたい！学校がないなら建てればいい！と思いたち、その時ちょうど彼女はダクスバリー・ロータリークラブの会長を務めていたので、みんなで募金活動することを決め、たった一日で65,000ドルも集め、最終的には、12万ドルもの募金を集めて、カブール近郊の地域に学校を建てることができました。想いはひとつ。

「何とか貧困の打開につながれば」

彼女の想いにはすごい情熱を感じますね。

私は日頃から、情熱さえあれば何でもできると考えています。情熱は、あるとき、どんな才能よりも勝る場合があります。

ここでパキスタン出身のノーベル平和賞受賞者、マララ・ユスフザイさんの、お話をします。マララさんの名前が、小惑星の名として永遠に残ることになりました。小惑星「マララ」は火星と木星の間の小惑星帯にあり、5年半の周期で太陽の周りを回っています。直径は約4キロで、表面の色は、プリンターのトナーのような黒ずんだ色とされます。私が、感動した彼女のスピーチの一節を載せて、この章の終わりとします。One child, one teacher, one pen and one book can change the world. Education is the only solution. Education First.

ロータリーの友

9月はロータリーの友月間です。「ロータリーの友」は、国際ロータリーの認可を受け、ロータリー地域雑誌の一員として発行されているロータリーの地域雑誌です。地域雑誌としての「友」、ロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、またクラブが国際ロータリーと直結しているという認識のためにも必要な媒体であり、ロータリアンの三大義務のひとつでもあり、本人が会員となっている限り、その購読を続けなければならない（標準クラブ定款14条）。ロータリーの友創刊は1953年1月号からであり、編集は横組みでした。現在のように縦組み・横組みになったのは、

1972年1月号からです。「友」誌はRI公式地域雑誌として、次のような要件があります。

1. RIの指導下にある編集委員会の直接監督
2. RIの方針に沿った編集方針（50%はロータリー関連記事であること）
3. 地元の記事とともにRIの要請する記事を掲載すること（毎年7月号にはRI会長の写真の掲載義務）
4. RIに負担をかけずに経営し得るだけの資金を持っていること
5. 地区もしくは2ヵ国以上の地域を対象に発行
6. 年に6回以上発行、24ページ以上
7. 5年ごとに再認定

それ以外に「THE ROTARIAN」の記事で指定された記事を転載しなければならないとあります。そして、各地区から一人、ガバナーの代理としてロータリーの友編集委員会のメンバーとなり、友理事会を直接監督しております。これを「友」地区代表委員といいます。

「友」誌は皆さんの投稿によっても成り立っています。では、皆さんが送ってくださった原稿が掲載される、その一番の決め手は何でしょうか。その一つは「生き生きとした写真がある」ということです。「理想的な写真は？」と聞かれると、「動きのある、活動の様子が分かる写真」と一言で片付いてしまうのですが、実際には、これがかなり大変なことのようです。

「『ロータリーの友』に写真を送ろうと思って探したが、集合写真しかなかった」などという話をよく伺います。

では、どのようにすればいいのでしょうか。活動の企画を立てる段階で、誰が写真を撮るのかを一緒に決めておき、写真を担当する人は、その活動の流れをあらかじめ把握して、「活動全体を一枚の写真で表現するにはどのシーンの写真を撮るのが一番いいか」ということまで事前に考えておくといいと思います。もちろん、現場ではもっといいシーンに出くわすかもしれませんが、事前に流れを確認しておけば、決してシャッターチャンスを見逃すことはないでしょう。さあ皆さんもふるって投稿しましょう。

A Talking Knowledge of Rotary

青少年に関する危機管理について

地区研修リーダー **三木 明** (姫路)

海外で起きた青少年交換学生のハラスメント事件に端を発して、青少年に関わるロータリープログラムにおいて、様々なリスクが起これないように対処する、あるいは危機的状況が起きた時にいかに対応するかという危機管理が重要になってきました。

国際ロータリーでは、各地区各クラブに青少年を守るための「ロータリー青少年保護マニュアル」“Rotary Youth Protection Manual : A Guide for Rotary Districts and Clubs” を作成して、危機管理に取り組んでいます。

このマニュアルには、「健全なプログラム監視と危機管理を通じ、ロータリープログラム並びにその活動に参加する全ての子供たちや若者に対し、ロータリアンが安全性の高い環境を提供する、その一助となるように青少年保護の包括的な概観を示すものである」と記されています。

RI理事会は、2002年11月に「青少年と接する際の行動規範に関する声明」で、「国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしている。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアの人々は、ロータリーを通じて関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るために最善を尽くす責任がある」と明記しました。ロータリアンが何らかの形で青少年と行動する際に従う基本原則を規定するものです。

このマニュアルでは、効果的な青少年奉仕プログラムを推進し、実行し、維持するためのインフォメーションとガイドラインが定められています。

その記載内容はそれぞれに国や地域の法律に遵守するよう変更することができ、その他の研修素材と組み合わせて使用するよう求められています。

ロータリーは、次なる世界を担う若者たちを育てるために数十年に及ぶ素晴らしい青少年奉仕活動を実行してきました。インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLA（青少年指導者養成プログラム）などのプログラムが、さらに安全で安心して参加できるよう行動しています。

故に、青少年奉仕に関わる全ての地区とクラブの指導者は、このマニュアルに目を通し、理解していなければならないのです。なぜならば、ロータリーの活動に参加する全ての若者に安全な環境を作り、維持することを目指しているからです。

この行動声明は、子供と若者の安全を第一義におくことをより強く進める高いレベルの方針を備えた行動声明を基本にしています。これらの方針はあらゆる心配事や起こりうるだろろう申し立てに対処することはもちろん、地元の青少年保護法、政策、手続きを順守することを地区やクラブにもとめます。

ロータリーは、児童や青少年に奉仕を提供してきた長い歴史があります。毎年、世界中で青少年のためのプログラムに30万人以上の青少年が参加しています。加えて、多くのクラブや地区が特に青少年に役に立つよう計画されたプログラム、ポリオワクチン投与を始めとする予防接種活動、識字率向上プログラム、その他様々な取り組みを指導してきました。

ロータリーは、青少年保護を非常に重くとらえております。ロータリアンは、虐待を事前に防ぐ安全な環境を整えることに努めており、仮に何か発生した不運な状況の時には適切に対応します。

ところが、残念なことに、どんなプログラムも虐待や様々な危機を完全に回避することはできません。また、外から見ればどんなに良好に見える環境においてさえ、そのような危険は起こりうるし、実際起こるものです。

虐待やハラスメントのみならず、事故、暴力、天災、政情不安、病気の流行などから若い人たちを守らなければなりません。

様々な被害から参加者を保護する手順やガイドラインを採択し、実行することでロータリアンをはじめとするボランティアの安全な活動条件を提供し、プログラムがその使命と目的を完遂できるようにします。

私たちのRI第2680地区でも、危機管理マニュアルを作成し、地区や各クラブが提唱し、実施する青少年奉仕活動に関するプログラムの危機管理について考慮し、常に対応できる体制をとっています。

地区危機管理委員会は、ロータリアンだけでなく外部委員を含める委員で構成されています。

現在のところ、「特定非営利活動法人・国際ロータリー日本青少年交換委員会」（RIJYEC）が勧めている「ロータリー青少年交換プログラム・地区再認定資料についての承認と同意書」、参加資格認定のため覚書（MOU）並びに危機管理基金設置の義務化について協議されています。今後、青少年交換プログラムだけでなく、インターアクト、ローターアクト、RYLAへと危機管理体制は広がっていくことは必至です。様々な事例報告に基づく対策についての協議が重ねられ、青少年奉仕全体をカバーする危機管理体制がさらに強化されるでしょう。

これを受けて、丸尾研一ガバナー年度では、危機管理に特化した地区セミナーを開催する予定です。危機管理についてのさらなるご理解を頂きますようお願い申し上げます。

「ロータリーの友月間」にちなんで

ロータリーの友地区代表委員 折戸善信 (神戸西神)

今年度から9月が「ロータリーの友月間」となりました。このことについて、ロータリーの友委員会特別顧問の安平和彦パストガバナーは2014-15年度4月号のガバナー月信で、「友誌(『ロータリーの友』)が日本のみならず世界のロータリアンの情報の共有と友好親睦を推進するという重要な役割を担っている」と制定の意義をアピールされています。

日本独自の取り組みとしてこの特別月間が制定された背景には、『友誌』の創刊にいたった経緯を大切にしたいとの思いがあったのではないかと思います。創立以来一つのクラブとして活動してきた日本のロータリアンが二つの地区に分かれることの寂しさ、お互いのことを知っておきたいとの思いから、両地区共通の機関誌を発行しようと企画し、準備委員会において幾多の議論がかさねられ、1953年1月に『ロータリーの友』第1号が発行されました。(注1) その後、1980年7月号からRI公式地域雑誌(現、ロータリー地域雑誌)としての認定を受けるなど、先輩ロータリアンの情熱と努力が詰まった地域雑誌として今日を迎えています。

ロータリーの友委員会は、『友誌』がさらに身近な情報誌となるよう、ロータリアンからの積極的な投稿や情報提供をお待ちしています。また、電子版もスタートしていますので、是非ご覧になっていただきたいと願っています。

また、『友誌』をとおして他の地域の活動を知ることにより、今年度のガバナー指針“Try hard to enjoy pure Rotary”が一層推進されていくのではないかと考えています。

今後とも『友誌』をご愛読いただき、一層豊かなロータリーライフへのご活用をお願い申し上げます。

(注1) 2013-14年度クラブ雑誌委員長用ロータリーの友手引き書より引用

ガバナー事務所からのお知らせ

◆地区委員の委嘱

青少年奉仕委員会 RYLA小委員会 委員 仲田 五郎 (北条)

◆お詫びと訂正

月信2号(8月号)4頁の2015-16年度ロータリー財団地区補助金プロジェクト一覧、豊岡ロータリークラブ提唱の「小学生による鶴と自然との共生に関する環境学習支援」活動につきまして、記載に誤りがございました。

正しくは、

提 唱 ク ラ ブ : 豊岡ロータリークラブ

(協同提唱クラブ) : (豊岡円山川ロータリークラブ)

でございました。

2015-16年度 RPIC目標

第1ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター **渡辺敏彦** (新潟南)

ラビンドランRI会長が、ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC) に対して、2015-16年度の目標を提示されました。

我々も、それを実現すべくゾーン毎に (日本は第1ゾーン・第2ゾーン・第3ゾーン) 各地区とコミュニケーションを十分にとって公共イメージの向上に努力したいと思っております。以下にその目標の概要を記します。

◆目的

RPICは、クラブと地区に対し、情報や広報、マーケティングにおける高度な支援を提供し、さらに地区やクラブのロータリアンが地域の方々にロータリーのストーリーを伝えるための研修を支援します。ロータリーのストーリーを最も効果的に伝えるのは、クラブが実施しているボランティア活動です。RPICの活動はその広報に重点を置く必要があります。

◆RPICの優先事項

- 地元メディアによる報道の推進
- ロータリーのビジュアルアイデンティティとボイスの導入促進
- デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

地元メディアによる報道の推進

以下の項目に関する個別の報道を実現する

- 奉仕プロジェクト
- 地元クラブによる恩恵を受けた人々や団体の紹介
- 地元での行事／募金活動
- ポリオ撲滅又は6つの重点分野
- 交流／ネットワークづくりの機会

ビジュアルアイデンティティとボイスの導入促進

- 6割のクラブが、ウェブサイトやソーシャルメディア、出版物 (パンフ・推進資料等) において、ロータリーのビジュアルアイデンティティとボイスを導入するようにする。
- 地区レベルで実際に導入しているクラブを紹介し、他クラブを啓蒙する。

デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

- 「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイドを活用し、ソーシャルメディア研修キットを配布し、その活用を奨励する。

※上記のRPIC目標を実現するために、我々RPICは各地区には様々な協力をお願いしてまいりますので、宜しくお願い致します。

文庫通信 (335号)

貴重な古文献

◎ 「YOKOHAMA」 (PEREGRINATIONS vol II)	PAUL P. HARRIS	1935	11p
◎ 「今は昔」 (提督ペルリ)	米山梅吉	1923	4p
◎ 「八十五年前の日本」 (看雲録)	米山梅吉	1938	52p
◎ 「かたみの文 - 伊豆山寺の一夏」 (東一郎)	米山東一郎 米山梅吉編	1921	18p
◎ 「八十七日 (米山梅吉歌集)」	米山梅吉	1922	92p
◎ 「何故ニ 漢字ワ ヨクナイカ」 (國字問題 - 漢字ヨリノ解放)	星野行則	1924	12p
◎ 「感謝観念」 (私ノ心理生活)	星野行則	1943	6p
◎ 「ガバナー告辞」 (国際ロータリー第60区大会記録)	星野行則 大阪R.C.	1952	6p
◎ 「ロータリー大會に際して (ラヂオを通じてロータリアンの講演放送)」 (ロータリー第七十区第六年次大会記録)	村田省蔵	1934	8p
◎ 「追憶談」 (平生夙三郎追憶記)	下村海南 津島純平編纂	1950	6p

【上記申込先：ロータリー文庫】

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ロータリー文庫 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館：午前10時～午後5時 休館：土日祝日

第1回戦略計画委員会

7月6日(月)◆ガバナー事務所会議室

戦略計画副委員長 矢野 宗司(加古川中央)

丸尾ガバナー、安平委員長はじめ15名の出席のもと、委員会が開催された。前年度の委員会で、グループの再編について、丸尾ガバナー・滝澤直前ガバナーの協議のもと、私案を提出していただくことになっており、滝澤直前ガバナーより、議論のたたき台としての私案の提出、説明がなされ、それをもとに各委員の意見が交換された。委員会としては、今後も様々な観点からしっかり議論をして、検討していくこととなった。

第1回地区史編纂委員会

7月9日(木)◆ガバナー事務所会議室

地区史編纂委員長 柴田 整宏(西宮夙川)

今回より委員会に室津ガバナーエレクト、瀧川ガバナーノミニ、他、次期代表幹事、次々期代表幹事、総務幹事にも参加していただき、前回までに決まったことを報告いたしました。

- 「地区史刊行によせて」と題して深川PGに好きなことを書いていただくこと
 - 「ロータリーの発展と地区の歩み」については、前回の詳しい解説に続いて2005年度から同様に記録すること
 - DLPからCLPに変化、規定審議会での変更点等を安平PGに説明していただくこと
 - 2005年度以降にできた新しい委員会及び従来からの委員会については、丸尾年度、室津年度の委員長に説明していただくこと
 - 各クラブの現状については、同様に年度の会長にいただくこと
- 室津年度の最後までには必ず完成して、瀧川年度の出来るだけ初期に発刊することを決めました。



第3回クラブ奉仕委員会

7月22日(水)◆ガバナー事務所会議室

クラブ奉仕副委員長 城 守(姫路)

番所委員長、丸尾ガバナーの挨拶の後、さっそく議事に入りました。

9月12日に開催する「クラブ奉仕セミナー」について、全体の流れをスケジュール(案)に基づいて説明し、セミナーのテーマを「例会とS.A.A.」としました。

基調講演、グループディスカッション、グループ発表を予定。グループディスカッションをより実りあるものにするため、委員会でファシリテーター研修(RLI研修)を始めました。



第1回RYLA小委員会

8月2日(日)◆ガバナー事務所会議室

RYLA小委員長(代理) 白井 良夫(伊丹)

本年度のRYLAセミナーの日程については2016年5月19日(木)～22日(日)と決定をふまえ、テーマ・講師の意見交換を行った。数多くのテーマ・講師候補が上がり各委員が持ち帰り、次回に決定することになった。カウンセラーについても次回までに確認をとり決定となった。2670地区との合同委員会の日程調整を早急に行うことを確認した。セミナー準備の日程の順守を申し合わせ、第2回RYLA小委員会の開催を2015年9月6日(日)16時～ガバナー事務所会議室にて開催することを決定し、閉会となった。



第1回インターアクト小委員会

8月3日(月)◆ガバナー事務所会議室

インターアクト小委員長 三木 健義(姫路)

報告事項

- ①インターアクト・リーダー研修 タイ王国スタディーツアーについて
- ②第33回地区年次大会(8/23～8/24)について
- ③第4回全国IA研究会及び第2回IA委員長会議(9/25～26)について
- ④インターアクトクラブ新設の情報について

審議事項

- ①青少年奉仕セミナーについて
- ②IA小委員会での発表部分について

協議事項

- ①IA小委員会の危機管理基準の作成について
- ②社会奉仕委員会とのコラボ分科会セミナーについて



ロータリー財団関係委員会打合せ会

8月8日(土)◆神戸メリケンパークオリエンタルホテル「銀河」

ロータリー財団委員会 副委員長 黒田 建一(西宮夙川)

標記委員会は、丸尾ガバナー、室津ガバナーエレクト、三木パストガバナー・R財団委員長、矢野社会奉仕、濱国際奉仕、板東青少年奉仕、松下学友の各委員会委員長を始めとして、今年は11月に4回開催される奉仕活動合同セミナーの準備の為合計18名が出席して、セミナーのタイムスケジュール、各委員会の小委員会を含む報告割当てなどについて概要を協議して決定し、詳細な詰めは10月12日(月・祝)に行うこととなりました。

標記委員会では併せて、10月12日(月・祝)に開催予定のR財団セミナーの準備打合せも行われ、タイムスケジュールを決定し、各委員会(小委員会)毎の報告概要を協議・決定し、詳細事項については8月29日(土)に決定することとなりました。

財団補助金を核として、R財団委員会と社会、国際、青少年の各奉仕委員会との間で一定の方向性を確認し、情報交換をすることにより、地区からクラブへより効果的な情報発信をする場としての奉仕活動合同セミナーへ向けて、本年度も精一杯の取り組みをして行きたいと思っております。



ご入会おめでとうございます(敬称略・クラブ順)

尼 崎



武田 敏治
建築用金物製造配布
7/13入会

尼 崎 北



上野 恭裕
大学
8/7入会

伊 丹



有田 憲生
病院
7/2入会



佐藤 栄一
工業用ゴム製品製造
7/23入会

宝塚武庫川



畑 世剛
薬局
7/2入会

神 戸 東 灘



稲田 均
乳製品製造
7/6入会

神 戸 南



大國 護
葬祭業
6/1入会

神 戸 西



中山 隆弘
広告代理業
7/17入会

神 戸 西 神



伊藤 幸美
薬局
7/1入会

神 戸 中



工藤 涼二
一般弁護士
7/1入会

神 戸 中



末廣 隆信
洋菓子配布
7/1入会

洲 本



木村 一郎
外科
2/2入会



柳 弘一郎
学園経営
6/2入会

相 生



神谷 栄幸
電気工事
7/1入会

ご協力に感謝します(敬称略・クラブ順)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



西岡 伸明
(伊 丹)



大國 護
(神戸南)



古屋 耕三
(和田山)

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者メジャーダー(20回)



丸尾 研一
(神戸西神)

米山功労者(7回)



大島 秀夫
(神戸垂水)

米山功労者(7・6回)



石濱 義民
(洲 本)

米山功労者(4回)



寺内 嘉一
(芦屋川)

米山功労者(2回)



田中 久雄
(伊 丹)

米山功労者(1回)



大西 恒祐
(相 生)

9 月 地 区 活 動 予 定

日 時	行 事 名	場 所
2日(水) 18:00～	第2回VTT小委員会	ガバナー事務所会議室
4日(金) 14:00～	第13回日韓親善会議	グランドプリンスホテル新高輪 飛天
	18:00～ 第1回ガバナー連絡会議	花隈鈴江
5日(土) 10:00～	米山カウンセラーミーティング	神戸三宮東急REIホテル3階ボールルームA
6日(日) 16:00～	第2回RYLA小委員会	ガバナー事務所会議室
7日(月) 19:00～	第1回危機管理委員会	神戸センタープラザ西館6階4号会議室
8日(火) 17:00～	第5回クラブ奉仕委員会・懇親会	ガバナー事務所会議室
10日(木) 16:00～	第1回ガバナー指名委員会	神戸ポートピアホテル南館B1階カトリア
	17:00～ 第1回ガバナー諮問委員会	神戸ポートピアホテル南館B1階カトリア
	18:00～ 第1回ガバナー諮問委員会懇親会	神戸ポートピアホテル南館4階日本料理 神戸たむら
11日(金) 17:30～	第2回規定審議委員会	ガバナー事務所会議室
12日(土) 13:30～	クラブ奉仕セミナー	神戸女子大学 ポートアイランドキャンパス
13日(日) 10:00～	須磨海岸清掃	JR須磨駅海岸側集合
	16:00～ 第1回職業奉仕／増強・拡大合同委員会	神戸三宮東急REIホテル3階ローズ
25日(金)～26日(土) 12:00～	全国インターアクト研究会	京都
27日(日) PM	予定 RYLA学友会総会ならびにつどい(全体同窓会)	未定

2018-19年度 「ガバナーノミニー候補者」推薦のお願い

ガバナー指名委員会 委員長 柴田 整宏 (西宮夙川)

地区内各クラブは、RI細則13.020.4並びに本地区ガバナー指名委員会規約の規定に基づいて、自クラブに所属する会員で、RI細則15.070の各項目に適合する最適任の会員であれば、1名に限り「2018-19年度ガバナーノミニー候補者」として、ガバナー指名委員会に推薦することができます。(手続要覧ならびに地区規定による)

■必要書類

1. クラブ会長・幹事の署名のある推薦書
2. クラブ幹事によって証明された、推薦するというクラブの決議文
3. 候補者のロータリー活動や地域社会・職業上の奉仕活動を中心とした略歴書および写真1葉

■提出期限

2015年9月1日(火)～11月30日(月)
※期日厳守でお願いいたします

■提出先

ガバナー事務所内
ガバナー指名委員会 委員長 柴田 整宏

※ガバナー指名委員会は、候補者の中から最適任者とするロータリアンを、ガバナーノミニーとして指名いたしますが、その選択の範囲は、地区内クラブから推薦された候補者に限定されるものではないことをご了承下さい。

国際ロータリー第2680地区 2015年7月出席報告

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数				東 播 第 一 4	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数			
				2015年 7月1日	当月末	増減	女性					2015年 7月1日	当月末	増減	女性
尼 崎 6	尼 崎	3	84.51	34	35	1	1	東 播 第 一 4	明 石	5	86.46	49	49	0	0
	尼 崎 北	5	94.38	40	40	0	0	東 播 第 一 4	明 石 西	5	100.00	41	41	0	1
	尼 崎 東	5	98.08	43	44	1	0	東 播 第 一 4	明 石 北	4	91.44	44	44	0	0
	尼 崎 西	4	98.14	37	37	0	2	東 播 第 一 4	明 石 南	5	93.22	24	24	0	0
	尼 崎 南	4	86.65	33	33	0	4	東 播 第 一 4	小 計		74.22	158	158	0	1
	尼 崎 中	5	80.86	23	23	0	1	東 播 第 二 5	高 砂	5	100.00	42	42	0	3
	小 計		90.44	210	212	2	8	東 播 第 二 5	加 古 川	4	84.32	75	73	-2	0
阪 神 第 一 5	伊 丹	5	85.62	42	44	2	0	東 播 第 二 5	加古川中央	5	87.89	55	55	0	0
	川 西	4	96.95	34	34	0	5	東 播 第 二 5	高砂青松	5	95.90	45	45	0	2
	伊丹有明	4	89.07	28	28	0	0	東 播 第 二 5	加古川平成	4	90.94	14	15	1	1
	川西猪名川	4	95.53	23	23	0	4	東 播 第 二 5	小 計		91.81	231	230	-1	6
	伊丹昆陽池	5	94.11	18	18	0	0	東 播 第 三 5	三 木	5	96.22	55	55	0	0
小 計		92.26	145	147	2	9	東 播 第 三 5	小野加東	5	92.60	39	41	2	1	
阪 神 第 二 6	西 宮	4	100.00	54	54	0	0	東 播 第 三 5	北 条	4	97.00	37	38	1	2
	芦 屋	5	87.13	48	49	1	0	東 播 第 三 5	西 脇	3	100.00	45	45	0	2
	甲 子 園	5	92.50	40	40	0	2	東 播 第 三 5	三木みどり	3	98.88	33	33	0	0
	西宮夙川	5	91.65	41	41	0	5	東 播 第 三 5	小 計		96.94	209	212	3	5
	芦屋川	3	84.95	28	28	0	1	淡 路 5	洲 本	4	93.38	36	38	2	1
	西宮恵美寿	5	82.40	25	25	0	6	淡 路 5	南 淡 路	5	86.15	26	26	0	3
小 計		89.77	236	237	1	14	淡 路 5	淡路三原	5	96.84	19	20	1	0	
阪 神 第 三 8	宝 塚	3	90.91	22	22	0	2	淡 路 5	津 名	5	91.73	36	37	1	0
	三 田	4	97.50	21	21	0	0	淡 路 5	あわじ中央	5	83.00	18	20	2	0
	篠 山	5	100.00	46	46	0	0	淡 路 5	小 計		90.22	135	141	6	4
	柏 原	5	88.55	49	49	0	0	西 播 第 一 6	姫 路	4	91.33	83	85	2	0
	宝塚武庫川	5	94.26	33	34	1	0	西 播 第 一 6	姫 路 南	3	98.16	81	81	0	0
	三 田 南	5	100.00	7	7	0	0	西 播 第 一 6	姫 路 西	5	79.45	73	74	1	2
	宝 塚 中	5	87.80	33	33	0	9	西 播 第 一 6	姫 路 東	3	100.00	75	75	0	2
	HYOGOロータリー Eクラブ	3	100.00	21	22	1	5	西 播 第 一 6	神 崎	5	85.81	31	31	0	0
小 計		94.88	232	234	2	16	西 播 第 一 6	姫路中央	5	100.00	5	5	0	0	
神 戸 第 一 7	神 戸	5	84.91	155	155	0	0	西 播 第 二 4	小 計		92.46	348	351	3	4
	神 戸 東	4	86.06	109	109	0	0	西 播 第 二 4	赤 穂	5	97.07	41	41	0	0
	神 戸 東 灘	3	89.99	32	33	1	3	西 播 第 二 4	相 生	4	100.00	39	40	1	2
	神 戸 有 馬	5	97.14	10	10	0	0	西 播 第 二 4	龍 野	5	96.60	49	49	0	4
	神 戸 南	3	83.55	82	82	0	0	西 播 第 二 4	上郡佐用	4	100.00	24	24	0	7
	神 戸 六 甲	4	86.67	15	15	0	0	西 播 第 二 4	小 計		98.42	153	154	1	13
	神 戸 ベイ	4	91.00	22	22	0	3	但 馬 5	豊 岡	5	95.68	34	34	0	1
小 計		88.47	425	426	1	6	但 馬 5	生 野	5	82.85	21	21	0	0	
神 戸 第 二 7	神 戸 西	4	91.75	56	57	1	5	但 馬 5	香 住	4	94.10	18	18	0	0
	神 戸 須 磨	5	93.08	34	35	1	0	但 馬 5	豊岡円山川	4	91.18	18	17	-1	0
	神 戸 北	4	82.58	29	29	0	2	但 馬 5	和 田 山	5	87.27	22	22	0	1
	神 戸 垂 水	3	90.68	31	31	0	5	但 馬 5	小 計		90.22	113	112	-1	2
	神 戸 ハーバー	5	86.30	12	12	0	0	但 馬 5	73RC		90.80	2,833	2,858	25	105
	神 戸 西 神	5	97.60	36	39	3	2								
	神 戸 中	4	90.06	40	41	1	3								
小 計		90.29	238	244	6	17									

◆クラブ数…………… 73RC
 ◆2015年7月1日 クラブ会員数……2,833人
 ◆2015年7月末 クラブ会員数……2,858人

◆2015年7月末女性会員数…………… 105人
 ◆2015年7月平均出席率……………90.80%
 ◆増 減…………… 25人増